

気象の警報などが大きく変わります

5月29日(金)から、気象台から発表される気象の警報などが分かりやすくなります。

問い合わせ

横浜地方気象台☎045(621)1999または災害対策課☎内線2432、FAX(50)8401



これまで河川氾濫や大雨、土砂災害、高潮に関する情報などは、警戒レベルとの対応が複雑で分かりにくくなっていましたが、今後は下表の通り避難の判断を支援する5段階の警戒レベルを付けて発表されるようになります。
市が発令する避難情報と合わせて、早めの避難準備や避難行動をお願いします。



新しい防災気象情報の名称

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3氾濫警報	レベル3大雨警報	レベル3土砂災害警報	レベル3高潮警報
警戒レベル2	レベル2氾濫注意報	レベル2大雨注意報	レベル2土砂災害注意報	レベル2高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

避難のタイミングはレベルで判断！

避難するタイミングは「レベル3」と「レベル4」です。「レベル4」では全員が避難してください。

詳細は気象庁の☎へ



災害発生までの情報発表のイメージ



レベル1早期注意情報	災害への心構えを一段高める
レベル2注意報	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップなどでお住まいの地域の災害リスクを再確認する 自治体が発表する避難情報の把握手段を再確認する
レベル3警報	<ul style="list-style-type: none"> 避難に時間がかかる高齢者などは危険な場所から避難する 高齢者などではない人も必要に応じて避難の準備や自主避難をする
レベル4危険警報	危険な場所から全員避難する ※台風などで暴風が予想される場合は暴風が吹き始める前に避難を完了する
レベル5特別警報	<ul style="list-style-type: none"> すでに安全な避難ができず、命が危険な状況になっている 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動などする

避難先の違いを知っていますか？

災害時に向かう場所には、津波から垂直避難する津波避難ビル、命を守るために逃げる指定緊急避難場所、そして避難生活を送る指定避難所の3つがあります。役割を知っておくことで、いざという時の迷いを減らせます。



津波避難ビルは…
津波から緊急的に一時避難する場所

高台や津波災害警戒区域外の避難場所への避難に時間を要する地域で、緊急的に一時避難をする場所として活用します。



指定緊急避難場所は…
命を守るために逃げる場所

災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所のことで、洪水・津波・地震・大規模火災など災害の種別ごとに指定しています。



指定避難所は…
避難生活を送る場所

災害の危険を感じて避難してきた方々が、危険が無くなるまで滞在したり、被災状況により自宅に戻れなくなったときに一時的に滞在したりすることを想定しています。



安全な場所にいる場合は、無理に移動する必要はありません。状況に応じて、より安全な行動を選ぶことが大切です。

市内の避難先一覧や指定基準などは市の☎の災害対策課のページをご覧ください。

